



オリオン七夕まつりで第一席の「オリオン賞」を受賞した作品（平成19年度）

## 会

社の業務に、CSRに、日々精力的に取り組んでおられる坂本社長。〈宮まちづくりネットワーク〉は平成9年4月からスタートし、毎年活発な活動を行っています。その多くはメディアにも取り上げられていますので、ご存知の方も多いのではないでしょうか。

「CSRという言葉が出てくる以前から、そういった活動に取り組んでいました」と坂本社長。まちづくり活動全般に

取り組む〈宮まちづくりネットワーク〉や、農業王国宇都宮の家等を目的に、大型專業農化・地産地消などをめざす〈まんなま共和国〉、栃木SCなどスポーツチーム支援：一つひとつ取り上げていくと、1年かけても終わりそうにありません。

こうしたCSR活動を成功させる秘訣は、何でしょうか。

「ボランティアの原則は、①金をかけない②汗をかかない③準備をしない、

④準備をしない、なんです。主催する側も参加する側も、重荷にならないよう、楽しく気軽にやれること。それから、できるだけメディアで紹介してもらえ工夫をする。社会の注目が集まれば、参加者のモチベーションも上がると同時に、他の活動団体への波及効果も大きい。」

つまりは、行動

## CSR成功の秘訣は、自社の経営資源を活用すること。

CSR活動に取り組む宇都宮市内の企業をご紹介します本コーナー。今回は〈宮まちづくりネットワーク〉や〈まんなま共和国〉といった活動でも注目されている、(株)ジーニックの坂本安男社長に話をうかがいました。

## CSRで輝く会社

第8回 株式会社ジーニック



代表取締役社長 坂本 安男氏

力と企画力が重要ということ。アイデアマンの坂本社長だからこそこの指摘です。

同社にとって、CSR活動は自社業務にも反映されています。動画など映像コンテンツの制作や配信などを手がけるセクション（ネクスト・イメージ）は、従来高額な費用が必要と思われがちだった動画制作を、速く安く作ることで、企業のPRのお手伝いをしています。

「少々プラスは見込んでいますが、基本はボランティア。一人だけ大もうけするのではなく、社会に奉仕することで企業活動を行っていきたいのです」

中小零細企業の生き残りに、大企業にはできない隙間を狙うことが不可欠。その方法論として、いかにして地域を巻き込むかが、企業戦略の要で

です。CSR活動は、そのヒントや手段になるもの——坂本社長は、そう位置づけているようです。

「自社の経営資源を見つめなおせば、CSRのヒントはたくさんあります。また私どもの活動も、ぜひ参考にしてください」という坂本社長。詳しい活動内容は同社ホームページにも載っています。一度アクセスしてみてください。



シンボルロード近くにある本社は、プライダル事業部店舗も兼ねています

### 株式会社 ジーニック

代表取締役社長 坂本安男

- ◎設立 昭和61年4月1日
- ◎業種 情報機器類の販売業、販売促進・営業推進企画
- 〈本社〉 宇都宮市本町13-2  
☎650-3010
- 定休日 日曜祝祭日、第2・4土曜日  
(プライダル事業部は祝祭日、火曜日)
- <http://www.xenic.co.jp/>